

いま、新しいスタイルの社会貢献が注目されています。ときめき世代だからこぞできること、いっしょに探してみませんか？ 1回目のキーワードは「プロボノ」。プロボノに取り組みNPO法人「サービスグラント」の代表理事・嵯峨生馬さんに教えていただきます。

「ときめき世代」に期待される 新しいボランティアスタイル

文／嵯峨生馬

仕事のスキルや 人脈をいかして

仕事や子育てが一段落し、自分の生活を充実させたいと考えるとき、社会貢献への関心も高まります。そうしたなかで、ご自身がこれまで長年かけて培ってきた仕事の経験やスキル、人脈などをいかしていけたら、と考える人は少なくないでしょう。ボランティアなら何でもいい、というわけではなく、ご自身のスキルや経験をいかして社会貢献するには、どうしたらよいでしょうか。

筆者が運営するNPO法人サービスグラントは、スキルをいかした社会貢献をテーマに、社会人とNPOとのマッチングに取り組む団体です。現在、20代から50代までの幅広い世代から1500人以上が参加登録していますが、そのうち52%は、過去にボランティアやNPOにかかわった経験がない人たち。参加動機を見ると「社会

貢献に関心がある」「新しい経験で視野を広げたい」といったこと以上に、「自分のスキルをいかせるから」という記述が目立ちます。ボランティアに二の足を踏んでいた人でも、「自分のスキルをいかせる」ということが、一歩踏み出すための重要な動機となっています。

仕事を通じて培った知識やスキルを社会のために役立てることを「プロボノ」といいます。プロボノとは「公共善のために」を意味するラテン語に由来する言葉で、ここ数年、日本でも広がりを見せています。プロボノは、ボランティアの新しいスタイルを提案するものとして注目されています。

自分に何ができるのか 考えてみよう

では、シニア世代における「プロボノ」には、どのようなものが考えられるでしょうか。

種多様なかわり方が考えられるのです。

実際にプロボノに参加した人たちからは「志の高い、前向きな人たちとのつながりが増え、一生の財産になりました」「本業ではかかわりのない分野の方とお会いすることができ、視野が広がりました」といった声が数多く寄せられています。日本でもNPOやソーシャルビジネスといわれる社会性の高い事業が少しずつ広がりを見せるなか、ご自身のスキルをいかした社会貢献は、今後ますます求められるようになっていくでしょう。



さがいくま ●シンクタンク研究員を経て、2005年に「サービスグラント」の活動を開始。09年にNPO法人化し、代表理事に就任。現在、東京および関西を拠点に、NPOに対しウェブサイト・パンフレット・事業計画立案等の成果物提供をコーディネート。著書に「プロボノ 新しい社会貢献 新しい働き方」等。

経理部門にいた人なら、寄附金や助成金などお金の管理を手伝うことが考えられますし、人事部門にいた人がスタッフやボランティアの人事制度を考えるのもプロボノです。法律やリスク管理に詳しい人は、規約や規則を整えたり、営業部門にいた人は、NPOの寄附者や会員を増やすためにどんな営業活動を行っていったらよいか

いっしょに知恵出しをするとよいでしょう。もつと責任ある立場に挑戦したい人には、NPOの「理事」や「顧問」になるのもプロボノのひとつです。アクティブシニアの社会参加をテーマに、企業の幹部経験者などが集まる「プラチナ・ギルドの会」というグループがあります。メンバーは、NPOや社会起業家の顧問・アドバイザーとして、経営戦略や組織運営など、長年のビジネス経験をいかしたアドバイスの提供を行っています。このように、それぞれの経験と持ち味をいかした多

「ゆうちょときめき倶楽部」 ボランティア情報サービス

ボランティアの各種情報はこちらから

生活ボランティア情報

ボランティア活動を始めたい方や、ボランティアを受けたい方に、地域社会貢献、環境・自然保護、社会福祉、子どもとの交流、国際交流、スポーツ・レクリエーションなど、さまざまな情報をご提供しています。

詳しくは、会員専用ホームページで

ゆうちょときめき倶楽部

検索

今すぐできるボランティア 知っていますか？

『ゆうちょボランティア貯金』

ゆうちょ銀行でお預かりしている通常貯金および通常貯蓄貯金の利子のうち、税引き後の20%相当額(1円未満切り捨て)が寄附金となります。この寄附金は「世界の人びとのためのJICA基金」を通じて、開発途上国・地域の生活向上や環境保全に活用されます。

詳しくは、お近くの郵便局の
貯金窓口・ゆうちょ銀行、
ゆうちょ銀行Webサイトへ

ゆうちょ社会貢献

検索